

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団の火災対応力向上・消防団活動PR事業

自治体名

長野県大町市

消防団名

大町市消防団

1 事業の目的

最新装備の充実と火災を想定した講習・訓練・イベントを実施し、効果的な火災防御と最新知識の習得・スキルの熟達及び消防団装備を用いた団PR・防火啓発の実施。

2 事業内容

- ・最新の装備品(高性能防火衣)を配備し、装備の充実と近代化を図り、効果的な火災防御と団員の生命を守る。
- ・大規模火災や大規模被害のおそれのある事態に対し冷静に対処できるため、実際のビル・工場・家屋連担区域を想定した火災防御に関する講習会・訓練を実施し、消防団員の相対的なスキルアップと効果的な火災防御を図る上での活動方法、装備使用について学ぶ。
- ・導入した最新装備を各種イベント・訓練にて披露し、広く市民に消防団のPRを実施。

3 事業成果

【うまくいった点】

近隣町村との合同訓練を例年に比べ多く実施したことで、訓練自体の規模感が大きくなり、伴って動員数が増加したことで、訓練参加者数が目標を上回ることができた。

各部や各分団の自主訓練についても、それぞれ取り組みたい課題が異なることから、団員自らが能動的に主導して訓練を実施してくれた結果と分析する。

【課題及び課題に対する改善方法】

消防フェスタの来場者数が伸び悩んだ課題について

①コンテンツの停滞(いつも一緒に真新しさが無い)

②駐車場の減少

災害体験車両の派遣抽選が外れ出展が叶わなかった。

スタンプラリーの景品強化や近隣駐車場とのシャトルバスの手配等、来場の満足感向上と取りこぼしを極力抑えることに務めたが、結果としては伸び悩んだ。

今後の発展のためには、新たなエッセンスを取り入れる必要がある。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
講習参加数	人数	280人	300人	
各部・各分団訓練	回数	42回	56回	
消防フェスタ来場者	人数	2,700人	1,500人	

